

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																											
アイ エステティック 専門学校	平成27年3月17日	田村 英介	〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0071																											
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																											
学校法人中村学園	昭和41年8月15日	中村 洋子	〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0467																											
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																									
衛生	衛生専門課程	インナービューティ科(エステティシャンコース)		平成29年文部科学省告示第29号																										
学科の目的	「ホスピタリティ豊かな人材育成と世界に通用する技術を備えた人材の育成」2点の理念のもとに美容関連分野において、その業界で活躍できる人材を育成するため、必要とされる資格取得を軸に実践的な知識、技術の習得を目的としている。																													
認定年月日	平成30年2月28日																													
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時間又は総単位数	講義	演習	実習	実験																								
2年	昼間	1886時間	420時間	441時間		1025時間																								
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																									
240人	31人	0人	8人の内4人	32人の内11人	40人																									
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 A～Dの4段階を原則としA～Cを認定、Dを不認定とする。 A～Dの評定が困難な場合はR(認定)																									
長期休み	■夏季:8月1日～8月31日 ■冬季:12月26日～1月5日 ■春季:3月21日～4月10日			卒業・進級条件	規定する卒業基準単位を取得した学生を卒業とする。また各学期において規定する最小単位を全て取得することが進級の条件となる。																									
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 学校生活、学業における個人面談、保護者との面談			課外活動	■課外活動の種類 SAM、ボランティア活動 ■サークル活動: 有																									
就職等の状況	■主な就職先、業界等(平成30年度卒業生) エステティック業界、リラクゼーション業界、化粧品業界、婚礼衣装、ネイル業界 ■就職指導内容 ・進路説明会を半期に一度実施し、個別相談を随時行っている。 ・NACSシステムで進路情報の共有 ・就職サポート行事を半期に一度実施 ■卒業者数 : 22 人 ■就職希望者数 : 22 人 ■就職者数 : 22 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 ・進学者数: 0人 ・関係分野(エステティック業界)への内定率は100%(希望就職者) (平成 30 年度卒業者に関する、令和元年5月1日時点の情報)			主な学修成果(資格・検定等)	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業者に関する令和元年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AEA上級認定 エステティシャン</td> <td>③</td> <td>22人</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>AEA認定 エステティシャン</td> <td>③</td> <td>22人</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>ダイエット検定</td> <td>③</td> <td>22人</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>アロマコーディネーターライセンス</td> <td>③</td> <td>22人</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>色彩活用ライブケアカラー検定3級</td> <td>③</td> <td>22人</td> <td>20人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 特になし		資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	AEA上級認定 エステティシャン	③	22人	22人	AEA認定 エステティシャン	③	22人	22人	ダイエット検定	③	22人	22人	アロマコーディネーターライセンス	③	22人	22人	色彩活用ライブケアカラー検定3級	③	22人	20人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																											
AEA上級認定 エステティシャン	③	22人	22人																											
AEA認定 エステティシャン	③	22人	22人																											
ダイエット検定	③	22人	22人																											
アロマコーディネーターライセンス	③	22人	22人																											
色彩活用ライブケアカラー検定3級	③	22人	20人																											
中途退学の現状	■中途退学者 13名 平成30年4月1日時点において、在学者165名(平成30年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者152名(平成31年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 意欲喪失、進路変更希望 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・担任制による学生管理 ・カウンセラーの設置 ・保護者との連携(出席状況、成績通知)			■中退率	7.9%																									
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・特待生制度(成績優秀者、学校貢献度により選抜) ・一人暮らし応援制度(一人暮らし支援) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																													
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																													
当該学科のホームページURL	<a href="https://aie.ac.jp">https://aie.ac.jp</a>																													

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
アイ エステティック 専門学校	平成27年3月17日	田村 英介	〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0071																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人中村学園	昭和41年8月15日	中村 洋子	〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0467																								
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																							
衛生	衛生専門課程	インナービューティ科(アロマ&セラピストコース)	平成29年文部科学省告示第29号																								
学科の目的	「ホスピタリティ豊かな人材育成と世界に通用する技術を備えた人材の育成」2点の理念のもとに美容関連分野において、その業界で活躍できる人材を育成するため、必要とされる資格取得を軸に実践的な知識、技術の習得を目的としている。																										
認定年月日	平成30年2月28日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時間又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
2	年間	1886時間	300時間	561時間			1025時間																				
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
240人	9人	0人	8人の内1人	32人の内14人	40人																						
学期制度	■前期:4月1日~9月30日 ■後期:10月1日~3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 A~Dの4段階を原則としA~Cを認定、Dを不認定とする。 A~Dの評定が困難な場合はR(認定)																							
長期休み	■夏季:8月1日~8月31日 ■冬季:12月26日~1月5日 ■春季:3月21日~4月10日		卒業・進級条件	規定する卒業基準単位を取得した学生を卒業とする。また各学期において規定する最小単位を全て取得することが進級の条件となる。																							
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 学校生活、学業における個人面談、保護者との面談		課外活動	■課外活動の種類 SAM、ボランティア活動 ■サークル活動: 有																							
就職等の状況	■主な就職先、業界等(平成30年度卒業生) エステティック業界、リラクゼーション業界、化粧品業界、婚礼衣装、ネイル業界 ■就職指導内容 ・進路説明会を半期に一度実施し、個別相談を随時行っている。 ・NACSシステムで進路情報の共有 ・就職サポート行事を半期に一度実施 ■卒業生数 : 20 人 ■就職希望者数 : 19 人 ■就職者数 : 19 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 95 % ■その他 ・進学者数: 0人 ・関係分野(リラクゼーション業界、エステティック業界)への内定率は100%(希望就職者) (平成 30 年度卒業者に関する、令和元年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業者に関する令和元年5月1日時点の情報) <table border="1"><thead><tr><th>資格・検定名</th><th>種別</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>AEA認定 エステティシャン</td><td>③</td><td>20人</td><td>19人</td></tr><tr><td>JHRS認定リフレクソロジー資格</td><td>③</td><td>20人</td><td>14人</td></tr><tr><td>アロマコーディネーターライセンス</td><td>③</td><td>20人</td><td>19人</td></tr><tr><td>色彩活用ライブケアカラー検定3級</td><td>③</td><td>20人</td><td>18人</td></tr></tbody></table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 特になし				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	AEA認定 エステティシャン	③	20人	19人	JHRS認定リフレクソロジー資格	③	20人	14人	アロマコーディネーターライセンス	③	20人	19人	色彩活用ライブケアカラー検定3級	③	20人	18人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																								
AEA認定 エステティシャン	③	20人	19人																								
JHRS認定リフレクソロジー資格	③	20人	14人																								
アロマコーディネーターライセンス	③	20人	19人																								
色彩活用ライブケアカラー検定3級	③	20人	18人																								
中途退学の現状	■中途退学者 13名 平成30年4月1日時点において、在学者165名(平成30年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者152名(平成31年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 意欲喪失、進路変更希望 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・担任制による学生管理 ・カウンセラーの設置 ・保護者との連携(出席状況、成績通知)		■中退率 7.9%																								
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・待生制度(成績優秀者、学校貢献度により選抜) ・一人暮らし応援制度(一人暮らし支援) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																										
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																										
当該学科のホームページURL	<a href="https://aie.ac.jp">https://aie.ac.jp</a>																										

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																																
アイ エステティック 専門学校	平成27年3月17日	田村 英介	〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0071																																
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																																
学校法人中村学園	昭和41年8月15日	中村 洋子	〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0467																																
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																															
衛生	衛生専門課程	インナービューティ科(メイクアップアーティストコース)	平成29年文部科学省告示 第29号																																
学科の目的	「ホスピタリティ豊かな人材育成と世界に通用する技術を備えた人材の育成」2点の理念をもとに美容関連分野において、その業界で活躍できる人材を育成するため、必要とされる資格取得を軸に実践的な知識、技術の習得を目的としている。																																		
認定年月日	平成30年2月28日																																		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																												
2年	昼間	1886時間	315時間	456時間			1115時間																												
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																														
240人	16人	0人	8人の内1人	32人の内10人	40人																														
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 A～Dの4段階を原則としA～Cを認定、Dを不認定とする。 A～Dの評定が困難な場合はR(認定)																															
長期休み	■夏季:8月1日～8月31日 ■冬季:12月26日～1月5日 ■春季:3月21日～4月10日		卒業・進級条件	規定する卒業基準単位を取得した学生を卒業とする。また各学期において規定する最小単位を全て取得することが進級の条件となる。																															
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 学校生活、学業における個人面談、保護者との面談		課外活動	■課外活動の種類 SAM、ボランティア活動 ■サークル活動: 有																															
就職等の状況	■主な就職先、業界等(平成30年度卒業生) エステティック業界、リラクゼーション業界、化粧品業界、婚礼衣装、ネイル業界 ■就職指導内容 ・進路説明会を半期に一度実施し、個別相談を随時行っている。 ・NACSシステムで進路情報の共有 ・就職サポート行事を半期に一度実施 ■卒業生数 : 14 人 ■就職希望者数 : 14 人 ■就職者数 : 14 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 ・進学者数: 0人 ・関係分野(化粧品業界)への内定率100%(希望就職者) (平成 30 年度卒業生に関する、令和元年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業生に関する令和元年5月1日時点の情報) <table border="1"><thead><tr><th>資格・検定名</th><th>種別</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>AEA認定エステティシャン</td><td>③</td><td>14人</td><td>12人</td></tr><tr><td>JMAメイクアップ技能検定3級</td><td>③</td><td>14人</td><td>14人</td></tr><tr><td>JMAメイクアップ技能検定2級</td><td>③</td><td>14人</td><td>11人</td></tr><tr><td>色彩活用パーソナル検定3級</td><td>③</td><td>14人</td><td>13人</td></tr><tr><td>JNECネイリスト技能検定3級</td><td>③</td><td>14人</td><td>14人</td></tr><tr><td>JNLジェルネイル技能検定初級</td><td>③</td><td>14人</td><td>14人</td></tr></tbody></table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 特になし				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	AEA認定エステティシャン	③	14人	12人	JMAメイクアップ技能検定3級	③	14人	14人	JMAメイクアップ技能検定2級	③	14人	11人	色彩活用パーソナル検定3級	③	14人	13人	JNECネイリスト技能検定3級	③	14人	14人	JNLジェルネイル技能検定初級	③	14人	14人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																																
AEA認定エステティシャン	③	14人	12人																																
JMAメイクアップ技能検定3級	③	14人	14人																																
JMAメイクアップ技能検定2級	③	14人	11人																																
色彩活用パーソナル検定3級	③	14人	13人																																
JNECネイリスト技能検定3級	③	14人	14人																																
JNLジェルネイル技能検定初級	③	14人	14人																																
中途退学の現状	■中途退学者 13名 平成30年4月1日時点において、在学者165名(平成30年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者152名(平成31年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 意欲喪失、進路変更希望 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・担任制による学生管理 ・カウンセラーの設置 ・保護者との連携(出席状況、成績通知)		■中退率 7.9 %																																
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・特待生制度(成績優秀者、学校貢献度により選抜) ・一人暮らし応援制度(一人暮らし支援) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																																		
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																																		
当該学科のホームページURL	<a href="https://aie.ac.jp">https://aie.ac.jp</a>																																		

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																																
アイ エステティック 専門学校	平成27年3月17日	田村 英介	〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0071																																
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																																
学校法人中村学園	昭和41年8月15日	中村 洋子	〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0467																																
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																															
衛生	衛生専門課程	インナービューティ科(ブライダルビューティコース)	平成29年文部科学省告示 第29号																																
学科の目的	「ホスピタリティ豊かな人材育成と世界に通用する技術を備えた人材の育成」2点の理念をもとに美容関連分野において、その業界で活躍できる人材を育成するため、必要とされる資格取得を軸に実践的な知識、技術の習得を目的としている。																																		
認定年月日	平成30年2月28日																																		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																												
2年	昼間	1886時間	375時間	656時間			855時間																												
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																														
240人	9人	0人	8人の内1人	32人の内11人	40人																														
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 A～Dの4段階を原則としA～Cを認定、Dを不認定とする。 A～Dの評定が困難な場合はR(認定)																															
長期休み	■夏季:8月1日～8月31日 ■冬季:12月26日～1月5日 ■春季:3月21日～4月10日		卒業・進級 条件	規定する卒業基準単位を取得した学生を卒業とする。また各学期において規定する最小単位を全て取得することが進級の条件となる。																															
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 学校生活、学業における個人面談、保護者との面談		課外活動	■課外活動の種類 SAM、ボランティア活動 ■サークル活動: 有																															
就職等の 状況	■主な就職先、業界等(平成30年度卒業生) エステティック業界、リラクゼーション業界、化粧品業界、婚礼衣装、ネイル業界 ■就職指導内容 ・進路説明会を半期に一度実施し、個別相談を随時行っている。 ・NACSシステムで進路情報の共有 ・就職サポート行事を半期に一度実施 ■卒業者数 : 9 人 ■就職希望者数 : 9 人 ■就職者数 : 9 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 ・進学者数: 0人 ・関係分野(ブライダル業界)への内定率は100%(希望就職者) (平成 30 年度卒業生に関する、令和元年5月1日時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等)	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業生に関する令和元年5月1日時点の情報) <table border="1"><thead><tr><th>資格・検定名</th><th>種別</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>AEA認定エステティシャン</td><td>③</td><td>9人</td><td>9人</td></tr><tr><td>JMAメイクアップ技能検定3級</td><td>③</td><td>9人</td><td>9人</td></tr><tr><td>色彩活用パーソナル検定3級</td><td>③</td><td>9人</td><td>8人</td></tr><tr><td>色彩活用パーソナル検定2級</td><td>③</td><td>9人</td><td>9人</td></tr><tr><td>JNECネイリスト技能検定3級</td><td>③</td><td>9人</td><td>9人</td></tr><tr><td>ブライダルコーディネート技能検定</td><td>③</td><td>9人</td><td>9人</td></tr></tbody></table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 特になし				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	AEA認定エステティシャン	③	9人	9人	JMAメイクアップ技能検定3級	③	9人	9人	色彩活用パーソナル検定3級	③	9人	8人	色彩活用パーソナル検定2級	③	9人	9人	JNECネイリスト技能検定3級	③	9人	9人	ブライダルコーディネート技能検定	③	9人	9人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																																
AEA認定エステティシャン	③	9人	9人																																
JMAメイクアップ技能検定3級	③	9人	9人																																
色彩活用パーソナル検定3級	③	9人	8人																																
色彩活用パーソナル検定2級	③	9人	9人																																
JNECネイリスト技能検定3級	③	9人	9人																																
ブライダルコーディネート技能検定	③	9人	9人																																
中途退学 の現状	■中途退学者 13名 平成30年4月1日時点において、在学者165名(平成30年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者152名(平成31年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 意欲喪失、進路変更希望 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・担任制による学生管理 ・カウンセラーの設置 ・保護者との連携(出席状況、成績通知)		■中退率 7.9 %																																
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・特待生制度(成績優秀者、学校貢献度により選抜) ・一人暮らし応援制度(一人暮らし支援) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																																		
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																																		
当該学科の ホームページ URL	<a href="https://aie.ac.jp">https://aie.ac.jp</a>																																		

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																																
アイ エステティック 専門学校	平成27年3月17日	田村 英介	〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0071																																
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																																
学校法人中村学園	昭和41年8月15日	中村 洋子	〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0467																																
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																															
衛生	衛生専門課程	インナービューティ科(ネイリストコース)	平成29年文部科学省告示 第29号																																
学科の目的	「ホスピタリティ豊かな人材育成と世界に通用する技術を備えた人材の育成」2点の理念をもとに美容関連分野において、その業界で活躍できる人材を育成するため、必要とされる資格取得を軸に実践的な知識、技術の習得を目的としている。																																		
認定年月日	平成30年2月28日																																		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																												
2	昼間	1886時間	150時間	291時間			1445時間																												
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																														
240人	12人	0人	8人の内0人	32人の内8人	40人																														
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 A～Dの4段階を原則としA～Cを認定、Dを不認定とする。 A～Dの評定が困難な場合はR(認定)																															
長期休み	■夏季:8月1日～8月31日 ■冬季:12月26日～1月5日 ■春季:3月21日～4月10日		卒業・進級 条件	規定する卒業基準単位を取得した学生を卒業とする。また各学期において規定する最小単位を全て取得することが進級の条件となる。																															
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 学校生活、学業における個人面談、保護者との面談		課外活動	■課外活動の種類 SAM、ボランティア活動 有																															
就職等の 状況	■主な就職先、業界等(平成30年度卒業生) エステティック業界、リラクゼーション業界、化粧品業界、婚礼衣装、ネイル業界 ■就職指導内容 ・進路説明会を半期に一度実施し、個別相談を随時行っている。 ・NACSシステムで進路情報の共有 ・就職サポート行事を半期に一度実施 ■卒業生数 : 9 人 ■就職希望者数 : 9 人 ■就職者数 : 9 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 ・進学者数: 0人 ・関係分野(ネイル業界)への就職率は内定率は100%(希望就職者) (平成 30 年度卒業者に関する、令和元年5月1日時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等)	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業者に関する令和元年5月1日時点の情報) <table border="1"><thead><tr><th>資格・検定名</th><th>種別</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>JNECネイリスト 技能検定3級</td><td>③</td><td>9人</td><td>9人</td></tr><tr><td>JNECネイリスト技能検定2級</td><td>③</td><td>9人</td><td>9人</td></tr><tr><td>JNECネイリスト技能検定1級</td><td>③</td><td>9人</td><td>9人</td></tr><tr><td>JNLジェルネイル技能検定初級</td><td>③</td><td>9人</td><td>9人</td></tr><tr><td>JNLジェルネイル技能検定中級</td><td>③</td><td>9人</td><td>9人</td></tr><tr><td>色彩活用パーソナル検定3級</td><td>③</td><td>9人</td><td>8人</td></tr></tbody></table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 特になし				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	JNECネイリスト 技能検定3級	③	9人	9人	JNECネイリスト技能検定2級	③	9人	9人	JNECネイリスト技能検定1級	③	9人	9人	JNLジェルネイル技能検定初級	③	9人	9人	JNLジェルネイル技能検定中級	③	9人	9人	色彩活用パーソナル検定3級	③	9人	8人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																																
JNECネイリスト 技能検定3級	③	9人	9人																																
JNECネイリスト技能検定2級	③	9人	9人																																
JNECネイリスト技能検定1級	③	9人	9人																																
JNLジェルネイル技能検定初級	③	9人	9人																																
JNLジェルネイル技能検定中級	③	9人	9人																																
色彩活用パーソナル検定3級	③	9人	8人																																
中途退学 の現状	■中途退学者 13名 平成30年4月1日時点において、在学者165名(平成30年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者152名(平成31年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 意欲喪失、進路変更希望 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・担任制による学生管理 ・カウンセラーの設置 ・保護者との連携(出席状況、成績通知)		■中退率 7.9 %																																
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・特待生制度(成績優秀者、学校貢献度により選抜) ・一人暮らし応援制度(一人暮らし支援) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																																		
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																																		
当該学科の ホームページ URL	<a href="https://aie.ac.jp">https://aie.ac.jp</a>																																		

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・教育課程編成委員会を年2回開催し、外部企業委員と次年度のカリキュラム改善・運営・評価などの意見交換をして授業方法の改善、工夫に生かす。
- ・年2回講師会議において企業からの派遣講師(非常勤講師)を招きビューティビジネスの業界最新動向を情報収集し、調査分析に努め、授業担当職員とのカリキュラム検討により業界の第一線で活躍できる人材教育の教育法を研究する。
- ・生徒の就職先企業、業界団体、資格・検定団体と関係性を高め、連携を図ることで、各業界のニーズをとらえカリキュラムや授業運営に反映する。
- ・「教育課程編成委員会」において今後定期的な評価、改善を図っていく。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

- ・教務、就職室におけるカリキュラム会議(年2回程度)で検討・提案された教育プログラムを教務室長を通して「教育課程編成委員会」において審議する。委員会からの助言、修正案を加味した最終案を「室長・リーダー会議」にて決議する。
- ・美容に関連する各業界の最新動向を調査、分析し各業界の第一線で即戦力として活躍できる人材教育の方法を研究し、現代社会に適した授業科目の改善案や新規導入を提言する。

【学校組織図】  
アイ エステティック専門学校

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿 2019年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
萩原 直見	NPO法人日本ネイリスト協会理事 法制委員会委員長 名誉本部認定講師	2019年4月1日～ 2021年3月31日	①
柴山 佳之	一般社団法人 日本エステティック業協会教育委員会 委員	2019年4月1日～ 2021年3月31日	③
中野 貴子	一般社団法人 日本エステティック業協会 理事	2019年4月1日～ 2021年3月31日	①
川島 真人	学校法人 中村学園統括本部	2019年4月1日～ 2021年3月31日	
田村 英介	アイ エステティック専門学校 校長	2019年4月1日～ 2021年3月31日	
長山 雅美	ジェイ ヘアメイク専門学校 副部長	2019年4月1日～ 2021年3月31日	
宮寺 琢也	アイ エステティック専門学校	2019年4月1日～ 2021年3月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。  
 ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)  
 ②学会や学術機関等の有識者  
 ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

- ・年2回開催する。開催時期については前期授業期間(4月から7月)終了後9月末までに1回、後期授業期間(10月から2月)終了後の3月までに1回開催し、同年度及び次年度以降の教育課程編成に活用する。

(開催日時)

2019年8月22日 10:30～12:30  
2020年2月28日 10:30～12:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

- ・意欲低下の中退を防ぐ為の対策についてのご意見。  
→短期コースを設置し、コース変更という形にして選考させる事で中退予防を出来るのではないか。
- ・メイクアップアーティストコースからメイクコースへの名称変更を検討は行わなくても良いというご意見。  
→名称の響きは大切である事他に、他コースが職種の中「メイク」の名称は業種になってしまうのでそのままが良いのではないか。
- ・学生のモチベーション維持の為に皆勤・精勤発表は「期」単位ではなく「月」単位の方が良いのではというご意見。  
→月単位で伝える事でたとえ欠席をしても、月が変わる事でモチベーションのリスタートが出来るのではないか。
- ・再評価決定時点で課題を与えていたが、コマ数の多い授業を欠席した時に課題量が多すぎてクリアが出来ないという事は作成する課題の改善が必要というご意見。  
→成績評価と課題クリアは別に考えなければならないので、職員で課題内容を必ず確認していくように共有する。

8月22日(木) 第1回委員会で当科の教育内容(カリキュラム、シラバス)について説明、意見交換と次年度カリキュラムについて検討及び意見交換を実施  
2月28日(金) 第2回委員会でシラバス・授業内容の改善についての報告と企業連携科目の審議をし、2月末までに最終決定する

(別途、以下の資料を提出)

- \* 教育課程編成委員会等の位置付けに係る諸規程
- \* 教育課程編成委員会等の規則
- \* 教育課程編成委員会等の企業等委員の選任理由(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-1
- \* 学校又は法人の組織図
- \* 教育課程編成委員会等の開催記録

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

当校の教育方針である「美容業界で必要とされる知識・技術を持った人材の育成」のもと美容の幅広い知識・技術を当校とつながりのある美容・健康系企業との連携で実践的かつ専門的な職業教育を実施していく

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

講師派遣指導委託協定書に基づいて、専門分野の実習及び演習授業等を企業より派遣の講師が担当する。

授業内での技術試験及び筆記試験を総合して各科目ごとにAからDの4段階評価を行う。

授業内容確認と反省における打ち合わせを担当教員、講師間で行う。また、年2回講師会議を開催し各専門分野の分科会を実施し、授業運営、内容について共有を図り論議する。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
パーソナルカラー	美容の技術でお客様の肌に触れる前に必要となる皮膚についての基本的な構造から、その機能まで学び、理解し、自分自身の肌も見直すことでお客様にアドバイスできるようになることを目標とした授業です。	色彩活用研究所 株式会社
生理学	人を美しくし、身体のコンディションを整えるためには、身体の内部の構造を知らないとは働きかけることができません。 ・骨や筋肉や内臓機能などの解剖生理学 ・脳、神経系やストレスなどの心身生理学 ・運動などの身体活動に対する運動生理学 などの各分野の基礎知識を学びお客様にアドバイスできるようになることを目標とした授業です。	株式会社SOIL WORKS
ネイルケア	ネイルの根幹である「ネイルケア&カラーリング」の基礎をしっかり身につけることを目標に、爪の状態に合わせた施術の完成度を高めながら目標タイム内に仕上げられるトレーニングをしていきます。爪に関する専門知識を身につけカウンセリングに活かせる適切なアドバイスができるように専門知識の幅を広げることも目標として学んでいきます。	株式会社Future Nail
アロマベーシック	アロマセラピーとは何か、香りを通して心身の健康に作用させるために必要な使用方法、知識、禁忌事項を学びます。化粧水、香水などのクラフト作成ができるよう自宅でも手軽に行えるアロマセラピーを学ぶことで、ビューティの仕事に役立つ知識を身につけます。	株式会社エイチスペース
リフレクソロジー	反射学と訳されるリフレクソロジーは、手のひら足の裏に全身が映し出されていると考えられています。手や足を刺激することで本来持っている自然治癒力を高めることを目的としたセラピーです。そのために必要となる理論や歴史を中心に学びますが、手軽に技術を提供することが可能であるため、前期に基本となる技術を習得します。長期休暇時のボランティアなどで即実践が可能な技術となっています。今後習得する技術との併用も可能なため、技術のバリエーションを広げます。	株式会社ホスピタリティ

(別途、以下の資料を提出)  
\* 企業等との連携に関する協定書等や講師契約書(本人の同意書及び企業等の承諾書)等

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

・学校研修については当校の教育方針において「ホスピタリティ」と「業界で必要とされる技術・知識」の項目を掲げており、時代の流れを察知し、常に業界の現場で「即戦力」として活躍できる意思と能力をもった人材を育成していくことが求められる。研修は業界見学を主とし、業界の話題性を掴んだ内容を追及している。同時に学生と同様の見学を実施し、カリキュラムの改善に活かすことを目的としている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

○カラーセラピスト講座

・対象:メイク・ブライダル科目担当教員4名 ・内容:色彩知識、色彩心理、カウンセリングテクニック ・期間:8/7  
・エイチスペースとの連携による研修

○エステティックグランプリ見学

・対象:エステ教員1名 ・フェイシャル技術見学、サロン運営 ・期間:4/13  
・エスグラ事務局のよる研修

○ビューティに関する業界動向による研修

・対象:エステ・ネイル教員2名 ・エステティック・ネイル業界の動向、製品・サービス・情報・技術の確認 ・期間:5/15  
・ビューティワールドジャパン事務局

○ブライダル接客講座

・対象:ブライダル教員1名 ・接客ロールプレイング、江戸時代の生活文化から学ぶおもてなしの心 ・期間:6/6～6/7  
・日本ブライダル文化振興協会による研修

○BIAブライダルコーディネーター養成講座

・対象:ブライダル教員1名 ・内容:ブライダル関連実務講習、未婚化、晩婚化対策、婚礼儀式 ・8/1～8/3 8/22～8/24  
・日本ブライダル文化振興協会による研修

○コスメコンシェルジュインストラクター養成講座

・対象:メイク担当教員1名 ・内容:化粧品材料知識、活性酸素とフリーラジカル、教え方セミナー ・期間:7/23  
・日本化粧品検定協会による研修

○エステティック試験官勉強会

・対象:エステティック教員3名 ・内容:検定技術試験時統一事項、実技試験変更点、学校教育と企業教育 ・期間:8/28  
・一般社団法人日本エステティック業協会による研修

○ネイル技術の勉強会

・対象:ネイル担当教員1名 ・内容:ネイルの高い技術力の見学、最先端のネイル&ビューティグッズの修習 ・期間:11/11  
・NPO法人日本ネイリスト協会

②指導力の修得・向上のための研修等

○メンタルヘルス講座

対象:職員1名 ・内容:対人関係の悩み、教育とは、問題行動の目的、鏡の法則、自己理解 ・期間:8/10.8/23  
・一般社団法人千葉県専修学校各種学校協会による研修

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

○エステティック試験官勉強会

・対象:エステティック教員4名 ・内容:検定技術試験時統一事項、実技試験変更点、学校教育と企業教育 ・期間:8/19  
・一般社団法人日本エステティック業協会による研修

②指導力の修得・向上のための研修等

○全体職員研修

・対象:全教職員 ・内容:ストレスをパワーに変える ・期間:8/1  
・ラーニングエッジ株式会社との連携による研修

○新任教員研修会

・対象:教員3名 ・内容:専修学校における職業教育、専修学校の在り方と授業実践、学生、教員のための実践心理 ・期間:8/8～8/23

○スキルアップ研修

・対象:教員4名 ・内容:ホスピタリティマインドの考え方、コミュニケーションスキル ・期間:5/24  
・ディズニーアカデミーによる研修

○メンタルヘルス研修

対象:職員1名 ・内容:対人関係の悩み、教育とは、問題行動の目的、鏡の法則、自己理解 ・期間:8/20  
・一般社団法人千葉県専修学校各種学校協会による研修

(別途、以下の資料を提出)

- \* 研修等に係る諸規程
- \* 研修等の実績(推薦年度の前年度における実績)
- \* 研修等の計画(推薦年度における計画)



4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

- ・学校関係者として、地域住民とともに、企業から委員が参画した「学校関係者評価委員会」を設置し評価を実施する。
- ・学校評価については「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考にし、教育活動その他の学校運営の総合的な状況について評価を行う。
- ・評価結果を広く保護者や地域住民に公表することにより、透明性の高い評価、開かれた評価となるようにする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念・目標・育人人材像・学校における職業教育の特色</li> <li>・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想</li> <li>・学校理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などの学生</li> <li>・保護者などへの周知</li> <li>・教育目標、育人人材像・学科等に対応する業界のニーズに向けての方向性</li> </ul>
(2) 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的等に沿った運営方針の策定</li> <li>・運営方針に沿った事業計画の策定</li> <li>・運営組織や意思決定機能の明確化、有効性</li> <li>・人事、給与に関する規程等の整備</li> <li>・教務、財務等の組織整備等の意思決定システムの整備</li> <li>・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制の整備</li> <li>・教育活動等に関する情報公開</li> <li>・情報システム化等による業務の効率化</li> </ul>
(3) 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等の策定</li> <li>・教育理念、育人人材像の業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の明確な確保</li> <li>・学科等の体系的なカリキュラムの編成</li> <li>・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等</li> <li>・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等</li> <li>・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、実習等）の体系的な位置づけ</li> <li>・授業評価の実施・評価体制</li> <li>・職業教育に対する外部関係者からの評価</li> <li>・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準の明確化</li> <li>・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけ</li> <li>・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員の確保</li> <li>・関連分野における業界等との連携において優れた教員の確保をする等のマネジメント</li> <li>・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の育成等資質向上のための取り組み</li> <li>・職員能力開発のための研修等</li> </ul>
(4) 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職率の向上に向けた取り組み</li> <li>・資格取得率向上に向けた取り組み</li> <li>・退学率低減に向けた取り組み</li> <li>・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価の把握</li> <li>・卒業後のキャリア形成への効果を把握した学校の教育活動の改善への活用</li> </ul>
(5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路・就職に関する支援体制の整備</li> <li>・学生相談に関する体制の整備</li> <li>・学生に対する経済的な支援体制の整備</li> <li>・学生の健康管理を担う組織体制</li> <li>・課外活動に対する支援体制の整備</li> <li>・学生の生活環境への支援</li> <li>・保護者との適切な連携</li> <li>・卒業生への支援体制</li> <li>・社会人のニーズを踏まえた教育環境の整備</li> <li>・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組み</li> </ul>
(6) 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育上の必要性に十分対応するための施設・設備の整備</li> <li>・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等についての十分な体制</li> <li>・防災に対する体制の整備</li> </ul>
(7) 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な学生の募集活動</li> <li>・学生募集活動における教育成果の正確な伝達</li> <li>・学納金の妥当性</li> </ul>
(8) 財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期的な学校の財務基盤の安定性</li> <li>・予算・収支計画の有効性、妥当性</li> <li>・財務についての適正な会計監査</li> <li>・財務情報公開の体制の整備</li> </ul>
(9) 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営</li> <li>・個人情報に関し、その保護のための対策</li> <li>・自己評価の実施と問題点の改善</li> <li>・自己評価結果の公開</li> </ul>
(10) 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献</li> <li>・学生のボランティア活動の奨励、支援</li> <li>・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等の積極的な実施</li> </ul>
(11) 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生の受け入れ・派遣についての戦略</li> <li>・留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等においての適切な手続き等</li> <li>・留学生の学修・生活指導等についての学内における体制の整備</li> <li>・学修成果が国内外で評価される取り組み</li> </ul>

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

・1年生中退率に対してのご質問

→入学直後の個別面談を実施する。高校からの調査書に基づき、注意を要する学生から早期対応をすること、講師間との情報共有を図る。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2019年9月1日現在

名前	所属	任期	種別
古川 卓史	株式会社 ホスピタリティ	2019年4月1日～ 2019年7月31日	企業委員
三森 歩	株式会社 ホスピタリティ	2019年8月1日～ 2021年7月31日	企業委員
水野 丘子	近隣住民代表	2019年4月1日～ 2021年3月31日	近隣住民

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ) 公表年月日: 2019年10月1日

<https://aie.ac.jp>

(別途、以下の資料を提出)

\* 学校関係者評価委員会の企業等委員の選任理由書(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-2

\* 自己評価結果公開資料

\* 学校関係者評価結果公開資料(自己評価結果との対応関係が具体的に分かる評価報告書)

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

・就職担当を配置し、求人情報の獲得の中で、企業への説明を行う。

・本校を会場とした企業向け学校説明会や企業説明会を実施する等、企業を招待し授業や実習の情報を発信を行うとともに業界情報の収集を行い学校運営に活用していく。

・ホームページにて各情報公開を行う。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学園の経営方針、学校の教育目標、学校の歩み、所在地、学校行事
(2) 各学科等の教育	カリキュラム、学校行事
(3) 教職員	教職員数、講師数、教職員の組織
(4) キャリア教育・実践的職業教育	進路指導、卒業後の進路、主要検定合格率
(5) 様々な教育活動・教育環境	施設・設備、課外活動(SAM活動)、家庭との連携
(6) 学生の生活支援	遠隔者支援、アパート斡旋、心のケア、危機管理
(7) 学生納付金・修学支援	納付金に関すること、就学支援金、授業料免除、奨学金
(8) 学校の財務	学園の財務状況、学校ごとの資金収支
(9) 学校評価	自己評価の結果、学校関係者評価の結果、改善方策
(10) 国際連携の状況	留学生受け入れ
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

<https://aie.ac.jp>

授業科目等の概要

(衛生専門課程インナービューティ学科 エステティシャンコース) 2019年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ホスピタリティ	ホスピタリティの精神を学び、お客様に接客するうえで必要な知識やマナーが実践に活かせることを目標とします。また自分以外の関わる全ての人へ「嫌な思いをさせない」「良い気持ちにさせる」という目標で2年間の専門学校生活を送り、人間力の成長を目指します。職業人として業界で必要な人材になれるよう心の成長にも目を向けていきます。	1通	30	2			○	○			○	
○			ITコミュニケーション	日常業務においてワープロソフトや表計算ソフトを用いた情報処理や、電子メールなどインターネット利用の技能は必要不可欠となっています。パソコンを用いて就職活動に必要なメール操作、ビジネス文書作成などを習得し、2年時には応用としてプレゼンテーションの資料作成を習得します。	1通・2前	60	4			○	○			○	
○			就職ガイド	就職活動を始めるにあたり「働く」ことについて将来のキャリアデザインを考え、自身の目指す就職先についての企業研究・自己PRでの表現方法を習得します。また、活動が本格化する前に履歴書、ESの記入方法、求人票の見方などを習得し就職活動をサポートします。	1通・2前	45	3			○	○		○		
○			ビジネスマナー	一社会人として身につけておく必要があるマナーや作法について実践を交えて習得します。また、人とかかわるうえで必要なコミュニケーションスキルについても同様に習得します。	1通・2通	60	4			○	○			○	
○			衛生・消毒・救急	美容業は、衛生・消毒に関するルールが医療に準じた状況で行われます。お客様の肌に直接触れることで、自分自身が感染したり、またお客様に感染させてしまう場合もあります。お客様と自分自身が病気に感染しない為に、衛生・消毒の知識を身に付けます。そして、サロン内では、突発的な事故やけがも起こる可能性があります。いつ何が起ころうとも迅速な対処が出来るように救急法の基礎知識を学び応急処置がスムーズに出来るように学びます。	1前	15	1			○	○			○	
○			皮膚科学	美容の技術でお客様の肌に触れる前に必要となる皮膚についての基本的な構造から、その機能まで学び、理解し、自分自身の肌も見直すことでお客様にアドバイスできるようになることを目標とした授業です。1年時は 身につける⇒自分の言葉で説明できるレベルになることが目標です。	1通	30	2			○	○			○	
○			皮膚科学	1年時に習得した基本知識から応用に移りトラブル肌についてさらに学び、どんな肌質や悩みをもつお客様にも積極的にアドバイスができるようになり、また自分自身の肌についても見直すきっかけになるような授業です。第1の目標は、AEAの試験対策で筆記試験の合格を目指します。第2の目標は、生活・食事を心がけることで肌質の改善を図り理想の肌を作るための知識を身につけることです。第3の目標はサロンで活躍できる技術者・カウンセラーになれることを目標としています。	2通	30	2			○	○			○	
○			生理学	人を美しくし、身体のコンディションを整えるためには、身体の内部の構造を知らないと働きかけることができません。骨や筋肉や内臓機能などの解剖生理学、脳、神経系やストレスなどの心身生理学、運動などの身体活動に対する運動生理学などの各分野の基礎知識を学びます。	1通	45	3			○	○			○	○
○			生理学	生理学ⅠⅡで学んだ解剖生理学・運動生理学・心身生理学の内容を復習しその3つの生理学をより深く学ぶとともに、現場でのアドバイスに使う知識を学習します。さらには、AEA上級認定エステティシャンの筆記試験に合格できる対策をします。	2通	30	2			○	○			○	○

○		化粧品学	化粧品学では、化粧品の成分、メーカーや値段だけで選ぶべきでないことを学び、各化粧品の目的を理解します。自分の目で多種多様なアイテムの中からお客様にあった化粧品を選べるようになることが目的です。さらに、その知識をもとに成分表を見て化粧品を理解し、アドバイスできるようになることを目標とします。	1 後・2 前	30	2	○			○									
○		栄養学	栄養素を理解し食生活を見直せる基礎知識を身につけ、お客様にアドバイスが出来るようになることが必要です。また、自分自身の食事を見直し食事の大切さを勉強していきます。また2年時はエステティシャンにとってカウンセリングに必要な項目になる日頃の食事についてアドバイスや美容だけではなく、健康志向の方も多いため、適切な栄養素と食事とれない場合はのサプリメントなどを必要分、摂取していくことの必要性も習得します。	1 後・2 通	45	3	○			○									
○		サロンマネジメント&法規	サロン側のすべき言動を学びます。また、施術における顧客満足度を上げるためのカウンセリングの意味や方法を学んでいきます。誤解のない技術提供をするにあたり、必要な法律について学びます。また人が生活していくうえで安全に買い物や契約ができるルールを学びます。授業では美容業界の商品や契約上、必要なものや取扱い等を学びます。	2 後	15	1			○		○								
○		電気・機器学 &美容脱毛学	皮膚や毛の構造は勿論のこと、脱毛の歴史や電気脱毛の理論についてより知識を深めていきます。普段、何気なく行なっている自己処理のデメリットや脱毛技術を受けられない人・肌などの禁忌事項も学びます。エステティックに必要な電気機器や法規について学習します。【電気機器学】主に美容電気機器を使用することにより身体にどのような影響があるのかなど科学的根拠を学びます。また、サロンにおいて使用する機器をお客様に説明ができることが目標です。	2 後	15	1			○		○								
○		東洋・西洋セラピー	施術メニューの中でも東洋のテクニックが主となるものや西洋のテクニックが主となるものと様々なメニューが店舗で使用されています。そういった知識を身につけ、技術に応用できる学習を目標としています。幅広い知識を習得することでお客様に合わせたアドバイスやメニュー選びを学び学内サロンの運営に活かしていきます。	1 前	15	1			○				○						
○		エステ資格取得対策	1年後期は認定エステティシャンの資格を取得することで自身が活躍できる幅を広げます。2年生ではAEA上級認定エステティシャン筆記試験合格に向けて、問題集を時間内に解いていきます。1年次に受験した試験より、問題数も増えるため毎回70~80問模試を実施します。また、対策授業内で模擬試験を行う事で自分の苦手な分野の理解・把握が出来る為各自で試験本番までに対策をします。	1 後・2 前	30	2			○				○						
○		販売心理学	技術だけになりがちなエステティシャンを経営の視野を学び、数字をとることの大切さや、会社にとって販売が必要なことを学び、接客に生かすのが目的の授業です。	2 後	30	2			○		○								
○		ダイエット実習	サロンにおいてダイエットや瘦身のニーズは非常に多くあります。カウンセリングの際、ホームケアアドバイスの一部となる「運動」を実践形式を踏まえながら、運動の種類や内容、そしてケースヒストリーを元に運動メニューをプログラムしていくように目指します。	2 前	15	1			○				○						○
○		ダイエット検定対策	エステティシャンとしてダイエットの知識は非常に重要な知識となります。現在様々なダイエット法があり、ダイエット方法の変化が著しい現代であるからこそ基本的なダイエット知識を学習し、カリキュラム終了後にダイエット検定2級取得を目指します。	2 通	30	2			○				○						○
○		ライフケアカラー検定対策	色彩の基礎から実践的な応用方法までを学習します。美容業界で求められるカラーコーディネイト技術を、カラーワーク実習を通して身につけ、衣食住(空間)へと活かせる力を養います。	2 後	30	2			○		○								○
○		フェイシャル実技理論&カウンセリング	1年時はエステティックの歴史や現状を学びます。技術を学ぶために必要な知識、禁忌事項、マナーを学んだ後、機器や使用化粧品の知識を深めます。2年時は実技の授業にリンクした内容で、お客様に安心して効果的な技術を提供するために、カウンセリング、ホームケアアドバイスなど実際のサロンでお客様に接した時に、対応できるスキルを学びます。	1 通・2 前	45	3			○		○								○

○		ボディ実技理論 & カウンセリング	1年時はエステティックの歴史や現状を学びます。技術を学ぶために必要な知識、禁忌事項、マナーを学んだ後、機器や使用化粧品の知識を深めます。2年時は実技の授業にリンクした内容で、お客様に安心して効果的な技術を提供するために、カウンセリング、ホームケアアドバイスなど実際のサロンでお客様に接した時に、対応できるスキルを学びます。	1通・2前	45	3				○	○	○							
○		応用実技理論	応用実技の目的にそって即戦力として対応できる知識を学びます。悩み別の技術で使用する機器や化粧品の使用方法に対しての知識、接客面ではクレームの基本的な対応やサロンを運営するために必要な経営についての知識、お客様を集客するための知識を主に学びます。	2後	15	1			○		○	○							
○		エステティックボディ実技	AEA上級認定エステティシャン資格取得を目標にした技術習授業です。検定での試験項目はカウンセリング力、技術力、専門知識力、アドバイス力、接客力の5項目が求められます。他講義で学んだ総合的な知識が技術とともにお客様の体や悩みに合わせて提供することができるように学んでいきます。	1通・2前	165	11				○	○	○							
○		応用実技	学内サロン運営を目標とした実習授業です。授業内では、企業の店舗と同様にお客様をお迎えしてからのカウンセリングと必要な技術の提案後、技術提供してから自宅でのアドバイスや施術の必要な来店頻度などを一連の流れに沿って実践します。定期的に一般のお客様をお呼びし、代金を授受できる学生サロンを開き、実践力を身につけます。	2通	255	17				○	○	○							
○		エステティックフェイシャル実技	AEA上級認定エステティシャン資格取得を目標にした技術習授業です。検定での試験項目はカウンセリング力、技術力、専門知識力、アドバイス力、接客力の5項目が求められます。他講義で学んだ総合的な知識が技術とともにお客様の体や悩みに合わせて提供することができるように学んでいきます。	1通・2前	240	16				○	○	○							
○		エステティック実技	応用実技の目的にそって即戦力として対応できる知識を学びます。主にエステティックに必要な、あらゆるボディオプションや機器・技術の向上を目指します。	2後	75	5				○	○	○	○						
○		ネイルケア	ネイルの根幹である「ネイルケア&カラーリング」の基礎をしっかりと身につけることを目標に、爪の状態に合わせた施術の完成度を高めながら目標タイム内に仕上げられるトレーニングをしていきます。爪に関する専門知識を身につけカウンセリングに活かせる適切なアドバイスができるように専門知識の幅を広げることも目標として学んでいきます。	1前	45	3				○	○	○	○						
○		資格取得選択 (アロマ)	JAAアロマコーディネーター協会主催「アロマコーディネーターライセンス」資格取得に対応した授業を目標とします。「アロマコーディネーター」とは花や草から生まれる香りのエッセンスの知識をもとに、自然の香りに親しみ、豊かなライフスタイルを提案できる人を指します。32種類の精油について知識を深め、アロマセラピーに必要な基礎理論と企業で働く際にお客様に役立つ知識と日常生活で安全に活用できる手法を学びます。	1後	45	3				○	○	○							
○		メイク & ヘアアレンジメント	1年時はメイクアップの基礎とヘアアレンジの基礎を実習を通して学びます。メイクアップでは、ベースメイクからフルメイクを学び、ヘアアレンジでは、アイロンの使い方、編み込みを取り入れた簡単なアレンジ方法を相モデルで実践し人に施術ができるようになることを目標としています。2年時は基本のメイクアップ、ヘアアレンジ技術だけでなく様々なシチュエーションに合わせたテクニックをそれぞれ学ぶことで、エステティックの仕事の幅を広げることを目標としています。	1前・2後	60	4				○	○	○							
○		アロマベーシック	アロマセラピーとは何か、香りを通して心身の健康に作用させるために必要な使用方法、知識、禁忌事項を学びます。化粧水、香水などのクラフト作成ができるよう自宅でも手軽に行えるアロマセラピーを学ぶことで、ビューティの仕事に役立つ知識を身につけます。	1前	15	1				○	○	○							
○		ヨガベーシック	ヨガの良さを体感しながら学びます。ヨガを行うことで体のゆがみや悪い癖を正し「美しく、良い姿勢」を作れることを目標とします。また、ヨガを取り入れることで精神的にも安定できるため、心身ともに安定した学校生活を送れることも期待できます。検定に対応したポーズやヨガの哲学、歴史を学びます。	1前	15	1				○	○	○							

○		ビューティプログラム(ブライダル)	人生の節目であり、女性にとって最も大きいセレモニーである「結婚式」についての知識を衣装を中心に学びます。衣装の歴史やデザインの種類、小物の意味などをエピソードを交え学んでいきます。また、日本の結婚式と欧米の結婚式の違いやブライダル業界の仕組みと成り立ちを学ことでブライダルにかかわる様々な仕事についても理解を深めます。	1前	15	1	○		○												
○		ビューティプログラム(リフレ)	反射学と訳されるリフレクソロジーは、手のひら足の裏に全身が映し出されていると考えられています。手や足を刺激することで本来持っている自然治癒力を高めることを目的としたセラピーです。そのために必要となる理論や歴史を中心に学びますが、手軽に技術を提供することが可能であるため、前期に基本となる技術を習得します。長期休暇時のボランティアなどで即実践が可能な技術となっています。今後習得する技術との併用も可能なため、技術のバリエーションを広げます。	1前	15	1			○	○									○	○	
○		技術習得集中講座	夏季休暇時に前期授業で学んだ技術確認と後期進級後に新たに学ぶ技術の基本練習を習得します。個人差が出やすい技術習得にとって反復習得することで、後期検定取得の目的となる技術習得がスムーズに進行できることを目的としています。	1後	35	2				○	○										
○		フィニッシングアップショー	2年間で学んだビューティに関わる知識や技術を自身で披露するための特別授業です。2年生は「ランウェイ」をウォーキングして参加者に披露するため、ウォーキング、ポーズの技術を学びます。また、パーティでの身だしなみ、振る舞い方やマナーを学び実践します。	2後	45	3			○		○									○	○
○		技術検定特別対策講座	AEA認定エステティシャン、AEA上級認定エステティシャン資格取得のために実施する特別講座です。授業内で学んだ技術や知識を復習し、合格に近づけるよう試験時に課題となっている点を集中して克服していきます。	1後・2通	135	9					○	○									○
○		オリエンテーション	2年間の学校生活送るうえで必要な学校内規則や行動目標、学生ルール、行事、授業などについて案内します。また、職業人として成長するためのマナー、心構えを学び学校生活で実践できことを目標とします。	1前	21	1			○		○										○
合計								1886時間(125単位)													

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
既定総授業時間数、及び既定の総単位数全て取得。履修方法は上記参照。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(衛生専門課程インナービューティ学科 アロマ&セラピストコース) 2019年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ホスピタリティ	ホスピタリティの精神を学び、お客様に接客するうえで必要な知識やマナーが実践に活かせることを目標とします。また自分以外の関わる全ての人へ「嫌な思いをさせない」「良い気持ちにさせる」という目標で2年間の専門学校生活を送り、人間力の成長を目指します。職業人として業界で必要な人材になれるよう心の成長にも目を向けていきます。	1通	30	2			○	○			○	
○			ITコミュニケーション	日常業務においてワープロソフトや表計算ソフトを用いた情報処理や、電子メールなどインターネット利用の技能は必要不可欠となっています。パソコンを用いて就職活動に必要なメール操作、ビジネス文書作成などを習得し、2年時には応用としてプレゼンテーションの資料作成を習得します。	1通・2前	60	4			○	○			○	
○			就職ガイド	就職活動を始めるにあたり「働く」ことについて将来のキャリアデザインを考え、自身の目指す就職先についての企業研究・自己PRでの表現方法を習得します。また、活動が本格化する前に履歴書、ESの記入方法、求人票の見方などを習得し就職活動をサポートします。	1通・2前	45	3			○	○		○		
○			ビジネスマナー	一社会人として身につけておく必要があるマナーや作法について実践を交えて習得します。また、人とかかわるうえで必要なコミュニケーションスキルについても同様に習得します。	1通・2通	60	4			○	○			○	
○			衛生・消毒・救急	美容業は、衛生・消毒に関するルールが医療に準じた状況で行われます。お客様の肌に直接触れることで、自分自身が感染したり、またお客様に感染させてしまう場合もあります。お客様と自分自身が病気に感染しない為に、衛生・消毒の知識を身に付けます。そして、サロン内では、突発的な事故やけがも起こる可能性があります。いつ何が起ころうとも迅速な対処が出来るように救急法の基礎知識を学び応急処置がスムーズに出来るように学びます。	1前	15	1			○	○			○	
○			皮膚科学	美容の技術でお客様の肌に触れる前に必要となる皮膚についての基本的な構造から、その機能まで学び、理解し、自分自身の肌も見直すことでお客様にアドバイスできるようになることを目標とした授業です。 1年時は身につける⇒自分の言葉で説明できるレベルになることが目標です。	1通	30	2			○	○			○	
○			生理学	人を美しくし、身体のコンディションを整えるためには、身体の内部の構造を知らないと働きかけることができません。1年時は骨や筋肉や内臓機能などの解剖生理学と脳、神経系やストレスなどの心身生理学を学び、運動などの身体活動に対する運動生理学などの各分野の基礎知識を2年時に学びます。また、1年時で学んだ生理学の内容を復習しながら、A E A認定エステティシヤンの筆記試験に、合格できる知識を身に付けます。	1通・2前	45	3			○	○			○	○
○			化粧品学	化粧品学では、化粧品の成分や、単にメーカーや値段だけで選ぶべきでないことを学び、各化粧品の目的を理解し、自分の目で多種多様なアイテムの中から自分やお客様にあった化粧品を選べるようになることが目的です。また、センター筆記試験に合格するために必要な対策も実施します。	1後	15	1			○	○			○	
○			栄養学	栄養素を理解し食生活を見直せる基礎知識を身につけ、お客様にアドバイスが出来るようになることが目標です。また、自分自身の食事を見直し食事の大切さを勉強していきます。2年時に受験するセンター筆記試験に合格するために必要な対策も実施します。	1後	15	1			○	○			○	







○	ヨガベーシック	ヨガの良さを体感しながら学びます。ヨガを行うことで体のゆがみや悪い癖を正し「美しく、良い姿勢」を作れることを目標とします。また、ヨガを取り入れることで精神的にも安定できるため、心身ともに安定した学校生活を送れることも期待できます。検定に対応したポーズやヨガの哲学、歴史を学びます。	1 前	15	1	○	○	○											
○	ビューティセラピー	店舗にはいろいろな立場のお客様が来店します。特に高齢者のお客様、障害のあるお客様、妊娠しているお客様に対して現状を把握し実践に向けてロールプレイングで学びます。高齢者施設の現場で実践を交えた授業も行い、様々な場面で求められる接客を学びます。	2 通	30	2	○	○	○											
○	ビューティプログラム(ブライダル)	人生の節目であり、女性にとって最も大きいセレモニーである「結婚式」についての知識を衣装を中心に学びます。衣装の歴史やデザインの種類、小物の意味などをエピソードを交え学んでいきます。また、日本の結婚式と欧米の結婚式の違いやブライダル業界の仕組みと成り立ちを学ことでブライダルにかかわる様々な仕事についても理解を深めます。	1 前	15	1	○	○	○											
○	ビューティプログラム(リフレ)	反射学と訳されるリフレクソロジーは、手のひら足の裏に全身が映し出されていると考えられています。手や足を刺激することで本来持っている自然治癒力を高めることを目的としたセラピーです。そのために必要となる理論や歴史を中心に学びますが、手軽に技術を提供することが可能であるため、前期に基本となる技術を習得します。長期休暇時のボランティアなどで即実践が可能な技術となっています。今後習得する技術との併用も可能なため、技術のバリエーションを広げます。	1 前	15	1		○	○											
○	ダイエット検定対策	エステティシャンとしてダイエットの知識は非常に重要な知識となります。現在様々なダイエット法があり、ダイエット方法の変化が著しい現代であるからこそ基本的なダイエット知識を学習し、カリキュラム終了後にダイエット検定2級取得を目指します。	2 後	15	1	○		○											
○	技術習得集中講座	夏季休暇時に前期授業で学んだ技術確認と後期進級後に新たに学ぶ技術の基本練習を習得します。個人差が出やすい技術習得にとって反復習得することで、後期検定取得の目的となる技術習得がスムーズに進行できることを目的としています。	1 後	35	2			○	○										
○	フィニッシングアップショー	2年間で学んだビューティに関わる知識や技術を自身で披露するための特別授業です。2年生は「ランウェイ」をウォーキングして参加者に披露するため、ウォーキング、ポーズの技術を学びます。また、パーティでの身だしなみ、振る舞い方やマナーを学び実践します。	1 後・ 2 通	45	3		○			○	○								
○	技術検定特別対策講座	AEA認定エステティシャン資格取得のために実施する特別講座です。授業内で学んだ技術や知識を復習し、合格に近づけるよう試験時に課題となっている点を集中して克服していきます。	1 後・ 2 通	135	9				○	○									
○	オリエンテーション	2年間の学校生活送るうえで必要な校内規則や行動目標、学生ルール、行事、授業などについて案内します。また、職業人として成長するためのマナー、心構えを学び学校生活で実践できことを目標とします。	1 前	21	1	○			○										
合計			1886単位時間(125単位)																

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
既定総授業時間数、及び既定の総単位数全て取得。履修方法は上記参照。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(衛生専門課程インナービューティ学科 メイクアップアーティストコース) 2019年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
○			ホスピタリティ	目の前のお客様に喜んでいただくことを仕事とする者にとって相手の立場に立って相手を慮る配慮やおもてなしの心を理解し行動することは、技術の習得と同じくらい大切なことです。2年間の専門学校生活で技術とともに心の成長にも目を向けていきます。	1通	30	2	○			○			○		
○			ITコミュニケーション	日常業務においてワープロソフトや表計算ソフトを用いた情報処理や、電子メールなどインターネット利用の技能は必要不可欠となっています。パソコンを用いて就職活動に必要なメール操作、ビジネス文書作成などを習得し、2年時には応用としてプレゼンテーションの資料作成を習得します。	1通・2前	60	4	○			○				○	
○			就職ガイド	就職活動を始めるにあたり「働く」ことについて将来のキャリアデザインを考え、自身の目指す就職先についての企業研究・自己PRでの表現方法を習得します。また、活動が本格化する前に履歴書、ESの記入方法、求人票の見方などを習得し就職活動をサポートします。	1通・2前	45	3	○			○			○		
○			ビジネスマナー	一社会人として身につけておく必要があるマナーや作法について実践を交えて習得します。また、人とかかわるうえで必要なコミュニケーションスキルについても同様に習得します。	1通・2通	60	4	○			○				○	
○			衛生・消毒・救急	美容業は、衛生・消毒に関するルールが医療に準じた状況で行われます。お客様のお肌に直接触れることで、自分自身が感染したり、またお客様に感染させてしまう場合もあります。お客様と自分自身が病気に感染しない為に、衛生・消毒の知識を身に付けます。そして、サロン内では、突発的な事故やけがも起こる可能性があります。いつ何が起ころうとも迅速な対処が出来るように救急法の基礎知識を学び応急処置がスムーズに出来るように学びます。	1前	15	1	○			○				○	
○			皮膚科学	美容の技術でお客様の肌に触れる前に必要な皮膚について基本的な構造から、その機能まで学び、見につけ、自分自身の肌も見直し、お客様にアドバイスできるように知る⇒身につける⇒自分の言葉で説明できるレベルになることが目標です。	1通・2前	45	3	○			○				○	
○			生理学	人を美しくし、身体のコンドিশョンを整えるためには、身体の内側の構造を知らないとは働きかけることができない。骨や筋肉や内臓機能などの解剖生理学、脳、神経系やストレスなどの心身生理学 運動などの身体活動に対する運動生理学などの各分野の基礎知識を学習していく。	1通・2前	45	3	○			○				○	○
○			化粧品学	化粧品学では、化粧品の成分や、単にメーカーや値段だけで選ぶべきでないことを学び、各化粧品の目的を理解し、自分の目で多種多様なアイテムの中から自分やお客様にあった化粧品を選べるようになることが目的です。IIではさらに、その知識をもとに成分表を見て化粧品を理解し、アドバイスできるようになりましょう。	1通・2前	30	2	○			○				○	
○			栄養学	栄養素を理解し食生活を見直せる基礎知識を身につけ、お客様にアドバイスが出来るようになることが必要です。また、自分自身の食事を見直し食事の大切さを勉強していきます。また2年時はエステティシャンにとってカウンセリングに必要な項目になる日頃の食事についてアドバイスや美容だけではなく、健康志向の方も多いので、適切な栄養素と食事ととれない場合はサプリメントなどを必要分、摂取していくことの必要性も習得します。	1後	15	1	○			○				○	





○		技術習得集中講座	夏季休暇時に前期授業で学んだ技術確認と後期進級後に新たに学ぶ技術の基本練習を習得します。個人差が出やすい技術習得にとって反復習得することで、後期検定取得の目的となる技術習得がスムーズに進行できることを目的としています。	1 後	35	2				○	○	○							
○		フィニッシング アップショー	2年間で学んだビューティに関わる知識や技術を自身で披露するための特別授業です。2年生は「ランウェイ」をウォーキングして参列者に披露するため、ウォーキング、ポージングの技術を学びます。また、パーティでの身だしなみ、振る舞い方やマナーを学び実践します。	2 後	45	3				○	○	○	○						
○		メイクサロン運営	授業で学んだ技術を一般のお客様に提供する特別授業です。代金をいただき外部のお客様に技術提供をすることで現場力を養います。1人のお客様を決まった時間内にカウンセリングから自宅でのアドバイスまで接客することやトラブル時の対応なども実践して学びます。また、来店頂く大切さや再来につなげるための工夫なども実践することで学びます。	2 後	30	2				○	○	○							
○		技術検定特別対策 講座	AEA認定エステティシャン資格取得のために実施する特別講座です。授業内で学んだ技術や知識を復習し、合格に近づけるよう試験時に課題となっている点を集中して克服していきます。	1 後・ 2 通	105	7				○	○	○							
○		オリエンテーショ ン	2年間の学校生活送るうえで必要な学校内規則や行動目標、学生ルール、行事、授業などについて案内します。また、職業人として成長するためのマナー、心構えを学び学校生活で実践できことを目標とします。	1 前	21	1				○	○	○							
		合計			1886単位時間(125単位)														

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
既定総授業時間数、及び既定の総単位数全て取得。履修方法は上記参照。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(衛生専門課程インナービューティ学科 プライダルビューティコース) 2019年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ホスピタリティ	目の前のお客様に喜んでいただくことを仕事とする者にとって相手の立場に立って相手を慮る配慮やおもてなしの心を理解し行動することは、技術の習得と同じくらい大切なことです。2年間の専門学校生活で技術とともに心の成長にも目を向けていきます。	1通	30	2			○	○			○	
○			ITコミュニケーション	日常業務においてワープロソフトや表計算ソフトを用いた情報処理や、電子メールなどインターネット利用の技能は必要不可欠となっています。パソコンを用いて就職活動に必要なメール操作、ビジネス文書作成などを習得し、2年時には応用としてプレゼンテーションの資料作成を習得します。	1通・2前	60	4			○	○			○	
○			就職ガイド	就職活動を始めるにあたり「働く」ことについて将来のキャリアデザインを考え、自身の目指す就職先についての企業研究・自己PRでの表現方法を習得します。また、活動が本格化する前に履歴書、ESの記入方法、求人票の見方などを習得し就職活動をサポートします。	1通・2前	45	3			○	○		○		
○			ビジネスマナー	一社会人として身につけておく必要があるマナーや作法について実践を交えて習得します。また、人とかかわるうえで必要なコミュニケーションスキルについても同様に習得します。	1通・2通	60	4			○	○			○	
○			衛生・消毒・救急	美容業は、衛生・消毒に関するルールが医療に準じた状況で行われます。お客様のお肌に直接触れることで、自分自身が感染したり、またお客様に感染させてしまう場合もあります。お客様と自分自身が病気に感染しない為に、衛生・消毒の知識を身に付けます。そして、サロン内では、突発的な事故やけがも起こる可能性があります。いつ何が起ころうとも迅速な対処が出来るように救急法の基礎知識を学び応急処置がスムーズに出来るように学びます。	1前	15	1			○	○			○	
○			皮膚科学	美容の技術でお客様の肌に触れる前に必要な皮膚について基本的な構造から、その機能まで学び、見につけ、自分自身の肌も見直し、お客様にアドバイスできるように知る⇒身につける⇒自分の言葉で説明できるレベルになることが目標です。	1通・2前	45	3			○	○			○	
○			生理学	人を美しくし、身体のコンディションを整えるためには、身体の内部の構造を知らないで働きかけることができない。 骨や筋肉や内臓機能などの解剖生理学、脳、神経系やストレスなどの心身生理学、運動などの身体活動に対する運動生理学などの各分野の基礎知識を学習していく。	1通・2前	45	3			○	○			○	○
○			化粧品学	化粧品学では、化粧品の成分や、単にメーカーや値段だけで選ぶべきでないことを学び、各化粧品の目的を理解し、自分の目で多種多様なアイテムの中から自分やお客様にあった化粧品を選べるようになることが目的です。IIではさらに、その知識をもとに成分表を見て化粧品の理解し、アドバイスできるようになりましょう。	1通・2前	30	2			○	○			○	
○			栄養学	栄養素を理解し食生活を見直せる基礎知識を身につけ、お客様にアドバイスが出来るようになることが必要です。また、自分自身の食事を見直し食事の大切さを勉強していきます。また2年時はエステティシャンにとってカウンセリングに必要な項目になる日頃の食事についてアドバイスや美容だけではなく、健康志向の方も多いため、適切な栄養素と食事とれない場合はサプリメントなどを必要分、摂取していくことの必要性も習得します。	1後	15	1			○	○			○	
○			東洋・西洋セラピー	施術メニューの中でも東洋のテクニックが主となるものや西洋のテクニックが主となるものと様々なメニューが店舗で使用されています。そういった知識を身につけ、技術に応用できる学習を目標としています。幅広い知識を習得することでお客様に合わせたアドバイスやメニュー選びを学び学内サロンの運営に活かしていきます。	1前	15	1			○	○		○		





○			メイク & ヘアアレンジメント	1年時習得した基礎となるヘアアレンジやメイクアップの技術力を向上させ、ウェディングの場面で必要となるテクニックや知識を学びます。ウェディングプロジェクトと連動し花嫁の希望に沿った髪型とメイクの提案ができることを目標としています。半期ごとに実施するウェディングプロジェクトで技術のスキル向上を目指します。	2通	120	8							○	○			○			
○			ブライダル概論	婚礼について挙式、披露宴の本質を学ぶ授業です。婚礼の歴史から変遷を考察し現在の婚礼事情までを習得します。また、ブライダル業界は幅広い業種で成り立ちそれぞれの職業がどういった場面で関わるかを学びます。	1後・2前	30	2	○							○	○			○		
○			ブライダルセールス	期限のある仕事をスケジュール通りに進めるためのノウハウを学ぶ授業です。同時に花嫁花婿に対しカウンセリングの技術向上を目指します。前期に行う挙式からより完成度を高めるためにお客様からの要望を引き出す力を身につけることを目標としています。	2通	30	2				○	○			○				○		
○			カラーデコレート	習得パーソナルカラー及び色彩の知識を使用してブライダルの場面で必要となるブーケの作成や会場装飾のデザインを学びます。製作を主として製作するために必要な知識を習得し、ウェディングプロジェクトに必要な会場装飾の作成やブーケなどの小物の製作を目標としています。	2後	30	2				○	○							○		
○			ネイルケア	ネイルの根幹である「ネイルケア&カラーリング」の基礎をしっかり身につけることを目標に、爪の状態に合わせた施術の完成度を高めながら目標タイム内に仕上げられるトレーニングをしていきます。爪に関する専門知識を身につけカウンセリングに活かせる適切なアドバイスができるように専門知識の幅を広げることも目標として学んでいきます。後期はネイル技能検定3級取得に向けてネイルケアとカラーリング技術の向上を目標としてより技術の完成度を高めることを目標としています。	1通・2前	165	11							○	○				○	○	
○			ドレススタイリング	1年時は衣装の歴史、種類、挙式スタイルなどの知識を学ぶと同時に挙式スタイルやパーティスタイルから見たドレス選び、小物の意味などを実践的に学びます。2年時はウェディングプロジェクトと連動し花嫁に希望のドレス提案をし小物の選定をするためのカウンセリングとアドバイスのスキルを学びます。花嫁を挙式当日にトータルでコーディネートし、アテンドできることを目標としています。	1後・2通	105	7				○	○								○	
○			ウェディングプロジェクト	挙式候補者の募集から挙式当日までの期間スケジュールに基づいて打ち合わせの進め方、式に必要な部門との手配方法、お客様への案内方法を実践的に学びます。当日のウェディングサロン運営を実践するための準備を進める授業です。実践を通して現場力を養うことを目標としています。	2通	105	7				○	○								○	
○			ABC検定対策	1年時から学んできたブライダル業界の歴史や基礎知識をもとに結婚式の企画や衣装、ジュエリー、ヘアメイク、演出、料理・飲物に至るあらゆる知識の理解を確認する目的の授業です。ABC検定資格取得を目標としています。	2後	30	2	○							○	○				○	
○			和装着付け	着物に関わる基礎知識や歴史から現在のブライダルで用いられる和装の知識とともに実践では着物の着付け、帯結びの技術を学びます。浴衣から振袖までの着付けを学びスタジオやブライダルサロンで訪問着までの着付けと帯結びができることを目標としています。	2前	45	3								○	○				○	
○			アロマベーシック	アロマセラピーとは何か、香りを通して心身の健康に作用させるために必要な使用方法、知識、禁忌事項を学びます。化粧水、香水などのクラフト作成ができるよう自宅でも手軽に行えるアロマセラピーを学ぶことで、ビューティの仕事に役立つ知識を身につけます。	1前	15	1								○	○				○	○
○			ヨガベーシック	ヨガの良さを体感しながら学びます。ヨガを行うことで体のゆがみや悪い癖を正し「美しく、良い姿勢」を作れることを目標とします。また、ヨガを取り入れることで精神的にも安定できるため、心身ともに安定した学校生活を送れることも期待できます。検定に対応したポーズやヨガの哲学、歴史を学びます。	1前	15	1								○	○					○

○		パーソナルカラー	1年時はパーソナルカラー3級を取得目標とする授業です。似合う色の活用法や、診断ポイント、色彩の基本を学習します。2年時はパーソナルカラー2級を取得するための授業です。2級を合格すると与えられる「アドバイザー」の称号通り、似合う色の提案や素材、形状などを組み合わせ多様に提案することができることを目標としています。ドレーブをあて、色の提案することや色を使い作品を制作したり実践を交えての授業となります。	1 後	30	2		○	○		○	○										
○		ライフケアカラー 検定対策	色彩の基礎から実践的な応用方法までを学習します。美容業界で求められるカラーコーディネート技術、カラーワーク実習を通して身につけ、衣食住(空間)へと活かせる力を養います。	2 後	30	2		○	○				○	○								
○		ビューティプログ ラム(ブライダル)	人生の節目であり、女性にとって最も大きいセレモニーである「結婚式」についての知識を衣装を中心に学びます。衣装の歴史やデザインの種類、小物の意味などをエピソードを交え学んでいきます。また、日本の結婚式と欧米の結婚式の違いやブライダル業界の仕組みと成り立ちを学ことでブライダルにかかわる様々な仕事についても理解を深めます。	1 前	15	1		○		○								○				
○		ビューティプログ ラム(リフレ)	反射学と訳されるリフレクソロジーは、手のひら足の裏に全身が映し出されていると考えられています。手や足を刺激することで本来持っている自然治癒力を高めることを目的としたセラピーです。そのために必要となる理論や歴史を中心に学びますが、手軽に技術を提供することが可能であるため、前期に基本となる技術を習得します。長期休暇時のボランティアなどで即実践が可能な技術となっています。今後習得する技術との併用も可能なため、技術のバリエーションを広げます。	1 前	15	1				○	○							○	○			
○		技術習得集中講座	夏季休暇時に前期授業で学んだ技術確認と後期進級後に新たに学ぶ技術の基本練習を習得します。個人差が出やすい技術習得にとって反復習得することで、後期検定取得の目的となる技術習得がスムーズに進行できることを目的としています。	1 後	35	2				○	○							○	○			
○		フィニッシング アップショー	2年間で学んだビューティに関わる知識や技術を自身で披露するための特別授業です。2年生は「ランウェイ」をウォーキングして参列者に披露するため、ウォーキング、ポージングの技術を学びます。また、パーティでの身だしなみ、振る舞いやマナーを学び実践します。	2 通	45	3		○		○								○	○			
○		リアルウェディ ング	挙式の運営で必要となる演出を学ぶ特別授業です。写真撮影、音響、映像などを学び挙式の運営で実践できることを目標としています。	2 通	45	3		○	○	○								○				
○		技術検定特別 対策講座	AEA認定エステティシャン資格取得のために実施する特別講座です。授業内で学んだ技術や知識を復習し、合格に近づけるよう試験時に課題となっている点を集中して克服していきます。	1 後・ 2 通	105	7				○	○							○				
○		オリエンテー ション	2年間の学校生活送るうえで必要な学校内規則や行動目標、学生ルール、行事、授業などについて案内します。また、職業人として成長するためのマナー、心構えを学び学校生活で実践できことを目標とします。	1 前	21	1		○		○								○				
合計																		1886単位時間(125単位)				

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
既定総授業時間数、及び既定の総単位数全て取得。履修方法は上記参照。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(衛生専門課程インナービューティ学科 ネイリストコース) 2019年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ホスピタリティ	目の前のお客様に喜んでいただくことを仕事とする者にとって相手の立場に立って相手を慮る配慮やおもてなしの心を理解し行動することは、技術の習得と同じくらい大切なことです。2年間の専門学校生活で技術とともに心の成長にも目を向けていきます。	1通	30	2			○	○			○	
○			ITコミュニケーション	日常業務においてワープロソフトや表計算ソフトを用いた情報処理や、電子メールなどインターネット利用の技能は必要不可欠となっています。パソコンを用いて就職活動に必要なメール操作、ビジネス文書作成などを習得し、2年時には応用としてプレゼンテーションの資料作成を習得します。	1通・2前	60	4			○	○			○	
○			就職ガイド	就職活動を始めるにあたり「働く」ことについて将来のキャリアデザインを考え、自身の目指す就職先についての企業研究・自己PRでの表現方法を習得します。また、活動が本格化する前に履歴書、ESの記入方法、求人票の見方などを習得し就職活動をサポートします。	1通・2前	45	3			○	○		○		
○			ビジネスマナー	一社会人として身につけておく必要があるマナーや作法について実践を交えて習得します。また、人とかかわるうえで必要なコミュニケーションスキルについても同様に習得します。	1通・2通	60	4			○	○			○	
○			衛生・消毒・救急	美容業は、衛生・消毒に関するルールが医療に準じた状況で行われます。お客様のお肌に直接触れることで、自分自身が感染したり、またお客様に感染させてしまう場合もあります。お客様と自分自身が病気に感染しない為に、衛生・消毒の知識を身に付けます。そして、サロン内では、突発的な事故やけがも起こる可能性があります。いつ何が起っても迅速な対処が出来るように救急法の基礎知識を学び応急処置がスムーズに出来るように学びます。	1前	15	1			○	○			○	
○			皮膚科学	美容の技術でお客様の肌に触れる前に必要な皮膚について基本的な構造から、その機能まで学び、見につけ、自分自身の肌も見直し、お客様にアドバイスできるように知る⇒身につける⇒自分の言葉で説明できるレベルになることが目標です。	1前	15	1			○	○			○	
○			生理学	人を美しくし、身体のコンディションを整えるためには、身体の内部の構造を知らないと働きかけることができない。骨や筋肉や内臓機能などの解剖生理学、脳、神経系やストレスなどの心身生理学、運動などの身体活動に対する運動生理学などの各分野の基礎知識を学習していく。	1前	15	1			○	○			○	○
○			化粧品学	化粧品学では、化粧品の成分や、単にメーカーや値段だけで選ぶべきでないことを学び、各化粧品の目的を理解し、自分の目で多種多様なアイテムの中から自分やお客様にあった化粧品を選ぶようになることが目的です。Ⅱではさらに、その知識をもとに成分表を見て化粧品を理解し、アドバイスできるようになりましょう。	1前	15	1			○	○			○	
○			東洋・西洋セラピー	施術メニューの中でも東洋のテクニックが主となるものや西洋のテクニックが主となるものと様々なメニューが店舗で使用されています。そういった知識を身につけ、技術に応用できる学習を目標としています。幅広い知識を習得することでお客様に合わせたアドバイスやメニュー選びを学び学内サロンの運営に活かしていきます。	1前	15	1			○	○			○	
○			フェイシャル実技理論&カウンセリング	エステティックの歴史や現状を学びます。技術を学ぶために必要な知識、禁忌事項、マナーを学んだ後、お客様に安心して効果的な技術を提供するために、カウンセリングやホームケアのアドバイスなど、実際のサロンでお客様に接した時に、対応できるスキルを学びます。	1前	15	1			○	○			○	
○			ボディ実技理論&カウンセリング	エステティックの歴史や現状を学びます。技術を学ぶために必要な知識、禁忌事項、マナーを学んだ後、お客様に安心して効果的な技術を提供するために、カウンセリングやホームケアのアドバイスなど、実際のサロンでお客様に接した時に、対応できるスキルを学びます。	1前	15	1			○	○			○	

○		エステティックボディ実技	エステティックの基本となる手技とそれをお客様の体や悩みに合わせて技術提供することができるように学びます。ネイルの仕事ではハンドマッサージやフットマッサージの提供も要されるためこういった技術を正確に習得することを目標としています。	1前	45	3						○	○		○			
○		エステティックフェイシャル実技	エステティックの基本となる手技とそれに使用する機器の操作を学びます。それらをお客様の肌や悩みに合わせて提供することができるように学んでいきます。肌の仕組みを学びながらその仕組みに合わせて技術を施せることを目標としています。	1前	60	4						○	○		○			
○		メイク & ヘアアレンジメント	1年時はメイクアップの基礎とヘアアレンジの基礎を実習を通して学びます。メイクアップでは、ベースメイクからフルメイクを学び、ヘアアレンジでは、アイロンの使い方、編み込みを取り入れた簡単なアレンジ方法を相モデルで実践し人に施術ができるようになることを目標としています。2年後期はメイクアップ技術の向上と応用テクニックの習得とパーティヘアアレンジを習得しフィニッシングアップショー行事で技術披露することを目標としています。	1前・2後	60	4						○	○				○	
○		和装着付け&ヘア	浴衣の着付けを基礎から学び、最終はモデルに施すことと浴衣に合わせたヘアアレンジを施し和装のコーディネートを学びます。和装を学ぶことで和のネイルデザイン技術を向上させることを目標としています。	2前	30	2						○	○				○	
○		ネイルケア	ネイルの根幹である「ネイルケア&カラーリング」の基礎をしっかり身につけることを目標に、爪の状態に合わせた施術の完成度を高めながら目標タイム内に仕上げられるトレーニングをしていきます。爪に関する専門知識を身につけカウンセリングに活かせる適切なアドバイスができるように専門知識の幅を広げることも目標として学んでいきます。後期はネイル技能検定3級取得に向けてネイルケアとカラーリング技術の向上を目標としてより技術の完成度を高めることを目標としています。	1通	135	9						○	○				○	○
○		ネイルケア	ネイルケアとカラーリングをより技術向上させる目標の授業です。特別授業であるサロン運営でお客様のカウンセリングやアドバイスができることを目標としているためより爪と皮膚の理解を深め実践的に学びます。	2通	180	12						○	○				○	○
○		ネイル検定対策	ジェルネイル検定初級取得とネイリスト技能検定3級取得に向けた対策授業です。	1後	105	7						○	○				○	○
○		ネイル検定対策	前期はジェルネイル検定中級取得に向け、後期はネイル技能検定1級取得に向け、時間、技術レベルテクニック	2通	150	10						○	○				○	○
○		アート	様々なアートの技法を学び組み合わせも併せて学びます。基礎から応用テクニックを習得し、サロン運営で求められる色の選択や最適なデザインの提案ができることを目標としています。	2通	120	8						○	○				○	○
○		カラーリング	ポリッシュ、ジェルネイルのカラーリング技術向上を目標とした授業です。検定でも仕上がりがチェックされるため、あらゆる質の材料でも完成度を高められる技術を学びます。	1後	90	6						○	○				○	○
○		イクステンション	1年時は爪の状態要望に合わせた技術を学び爪の状態に合わせた技術が施せることを目標としています。2年時は最も難度の高い爪の造形であるイクステンション技術をアクリル素材を用いて作成しネイル技能検定1級取得に向け技術を向上させることを目標としています。	1後・2通	240	16						○	○				○	○
○		アロマベーシック	アロマセラピーとは何か、香りを通して心身の健康に作用させるために必要な使用方法、知識、禁忌事項を学びます。化粧水、香水などのクラフト作成ができるよう自宅でも手軽に行えるアロマセラピーを学ぶことで、ビューティの仕事に役立つ知識を身につけます。	1前	15	1						○	○				○	○
○		ヨガベーシック	ヨガの良さを体感しながら学びます。ヨガを行うことで体のゆがみや悪い癖を正し「美しく、良い姿勢」を作れることを目標とします。また、ヨガを取り入れることで精神的にも安定できるため、心身ともに安定した学校生活を送れることも期待できます。検定に対応したポーズやヨガの哲学、歴史を学びます。	1前	15	1						○	○				○	

○	パーソナルカラー	パーソナルカラー3級を取得目標とする授業です。似合う色の活用法や、診断ポイント、色彩の基本を学習します。メイクの仕事は店舗で働く際に、お客様にそれぞれに合った色選びや色の組み合わせなどのスキルを求められます。そういった場面でも役立つ基本知識を学びます。	1 後	30	2	○	○	○	○
○	ビューティプログラム（ブライダル）	人生の節目であり、女性にとって最も大きいセレモニーである「結婚式」についての知識を衣装を中心に学びます。衣装の歴史やデザインの種類、小物の意味などをエピソードを交え学んでいきます。また、日本の結婚式と欧米の結婚式の違いやブライダル業界の仕組みと成り立ちを学ことでブライダルにかかわる様々な仕事についても理解を深めます。	1 前	15	1	○	○	○	○
○	ビューティプログラム（リフレ）	反射学と訳されるリフレクソロジーは、手のひら足の裏に全身が映し出されていると考えられています。手や足を刺激することで本来持っている自然治癒力を高めることを目的としたセラピーです。そのために必要となる理論や歴史を中心に学びますが、手軽に技術を提供することが可能であるため、前期に基本となる技術を習得します。長期休暇時のボランティアなどで即実践が可能な技術となっています。今後習得する技術との併用も可能なため、技術のバリエーションを広げます。	1 前	15	1	○	○	○	○
○	技術習得集中講座	夏季休暇時に前期授業で学んだ技術確認と後期進級後に新たに学ぶ技術の基本練習を習得します。個人差が出やすい技術習得にとって反復習得することで、後期検定取得の目的となる技術習得がスムーズに進行できることを目的としています。	1 後	35	2	○	○	○	○
○	ネイルサロン運営	授業で学んだ技術を一般のお客様に提供する特別授業です。代金をいただき外部のお客様に技術提供をすることで現場力を養います。1人のお客様を決まった時間内にカウンセリングから自宅でのアドバイスまで接客することやトラブル時の対応なども実践して学びます。また、来店頂く大切さや再来につなげるための工夫なども実践することで学びます。	2 後	60	4	○	○	○	○
○	フィニッシングアップショー	2年間で学んだビューティに関わる知識や技術を自身で披露するための特別授業です。2年生は「ランウェイ」をウォーキングして参加者に披露するため、ウォーキング、ポーズの技術を学びます。また、パーティでの身だしなみ、振る舞いやマナーを学び実践します。	2 通	45	3	○	○	○	○
○	技術検定特別対策講座	ネイル技能検定資格及びジェル検定資格取得のために実施する特別講座です。授業内で学んだ技術や知識を復習し、合格に近づけるよう試験時に課題となっている点を集中して克服していきます。	1 後・ 2 通	120	8	○	○	○	○
○	オリエンテーション	2年間の学校生活送るうえで必要な学校内規則や行動目標、学生ルール、行事、授業などについて案内します。また、職業人として成長するためのマナー、心構えを学び学校生活で実践できことを目標とします。	1 前	21	1	○	○	○	○
合計						1886時間(126単位)			

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
既定総授業時間数、及び既定の総単位数全て取得。履修方法は上記参照。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。